



登壇講師プロフィール



いぬい てつや
登壇講座 No.1 **乾 哲也**
明和町役場 齋宮跡・文化観光課 文化財係 係長
講師からのメッセージ
齋宮跡だけではない、明和町と伊勢神宮・齋宮の関係をご紹介します。



おおかわ まさひろ
登壇講座 No.1 **大川 勝宏**
三重県立齋宮歴史博物館 副参事 調査研究課 課長
講師からのメッセージ
史跡齋宮跡の発掘調査は、1970年から50年をこえる歴史があり、文献に残る記録だけではうかがい知れなかった齋宮の実像を解明してきました。発掘が明らかにしてきた遺構・遺物といった「モノ」から分かる齋宮の姿と、発掘の醍醐味をお伝えできればと思います。



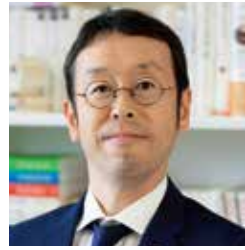
えむら ひろゆき
登壇講座 No.1&5 **榎村 寛之**
三重県立齋宮歴史博物館 学芸普及課
講師からのメッセージ
齋王の息吹が今に伝わる明和町。それは発掘調査の成果だけではありません。齋宮を核とした明和町の歴史と文化は各地に残されています。一緒に探していきたいと思います。



ふじた なおのぶ
登壇講座 No.2 **藤田 直信**
明和町文化財保護審議会 委員
松阪市清水町西方寺 副住職
講師からのメッセージ
仏像は、時代を生きる人々の心情を造形化したもの。明和町域に残る仏像から、地域の歴史をひもときます。



ちくさ きよみ
登壇講座 No.2 **千種 清美**
文筆家、皇學館大学 非常勤講師
講師からのメッセージ
ご鎮座2,000年という伊勢神宮と関わりが深い明和町。たとえば、養村で作られた神宮土器は伊勢神宮でどのような使われ方をするか。カケチカラ発祥地が明和町にあるけれど、どのようなものか、神に捧げる織物とは、など神宮を支える明和町ゆかりのものをひもときます。



いたい まさなり
登壇講座 No.2 **板井 正斉**
皇學館大学 文学部 神道学科 教授
講師からのメッセージ
明和町には、祇園祭やかんこ踊りをはじめ、浅間さんにお頭神事、さらには虫送りに山の神など魅力的な祭礼行事が豊かに継承されてきました。その文化的意義と見逃せない今後の課題について考えたいと思います。



たにど ゆうき
登壇講座 No.4 **谷戸 佑紀**
皇學館大学 文学部 国史学科 助教授
講師からのメッセージ
明和町は豊かな歴史の息づくところです。今日は伊勢参宮(お伊勢参り)や街道文化を切り口として、江戸時代の明和町についてお話ししたいと思います。



ふくだ よしひこ
登壇講座 No.4 **福田 良彦**
三重県総合博物館 学芸員
講師からのメッセージ
みいと織、擬革紙、オンリーワンの魅力をお話します。



すがわら よういち
登壇講座 No.4 **菅原 洋一**
三重大学 名誉教授
講師からのメッセージ
見慣れた平凡な町並のように思われがちな伊勢街道の町並には、とても面白い特色があります。それをご紹介します。



なかの あつお
登壇講座 No.5 **中野 敦夫**
元明和町役場 齋宮跡・文化観光課 課長
講師からのメッセージ
明和町には齋宮跡以外にも魅力的な歴史・文化がたくさんあります。シンポジウムでは皆さんと一緒にその魅力を再発見していきたいと思います。



見たい! 知りたい!! 郷土の歴史!!! めいわ文化遺産連続講座

参加申込書

※原則、全講座受講になりますが、難しい場合はご相談も承ります。お電話にてお問い合わせください。(TEL.0596-52-7126)

ふりがな			性別	男・女
氏名				
住所	〒		年齢	
連絡先	自宅	携帯	E-mail	

【個人情報取扱について】申込書にご記入いただいた個人情報は、法令の定めのある場合や本人の同意がある場合を除き目的外利用することはありません。

留意事項

- 参加を中止される場合は、お早めにご連絡ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、講座を中止する場合があります。
- 参加者はマスクの着用が必要です。
- ご来場の際に体温を測定させていただきます。
- 37.5度以上の発熱がある方は、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

申込先 明和町齋宮跡・文化観光課 文化財係
〒515-0332 明和町大字馬之上945番地
TEL.0596-52-7126 / FAX.0596-52-7133

参加無料